

Tatebayashi

広報たてばやし

2024

3

Vol.1315

子どもたちの未来を育む

キミの未来はどんな色？

●はじめてのパステルアートに挑戦！

2月14日、第九小学校で放課後子ども教室が行われました。子どもたちはパステルの粉を指でぼかしながら、真剣な表情で思い思いの作品を作りました。子どもの体験活動については、本紙2・3ページにも掲載しています。

特集「生きる力を育む」	02
さくらとこいのぼりの里まつり	04
物価高騰対応給付金を給付	06
戸籍証明書の請求が便利に	09
休日臨時窓口を開設	09

生きる力を育む ～体験活動のすゝめ～



本市でできる体験活動の1つ

放課後子ども教室 (放課後☆きっずinにし) に 行ってきました!

「放課後子ども教室」は、子どもたちが安全・安心に活動できる場所を設け、勉強やスポーツ・文化活動、地域の人たちと交流活動などをすることで、子どもたちが心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進するものです。今回、第十小学校で行われたグラウンドゴルフの体験に参加し、元気いっぱいの子どもたちと、西公民館地域で活躍するボランティアのかたがたにお話を伺いました。

民生委員・児童委員の声

民生委員・児童委員やボランティアのかたと協力して、子どもたちの勉強と遊びの見守りをしています。子どもたちも慣れてきてくれて、毎回とても楽しいです。子どもも大人も、お互いに好きなことを自由気ままに話しながら過ごしています。それがまた良い関係になっていくのだと思います。

グラウンドゴルフを指導したかたの声

子どもたちの元気のよさにびっくり。けががないよう、安全第一で心がけました。初めの方は苦戦している様子でしたが、アドバイスをよく聞いて実践していくと、だんだんとまっすぐ打って打てるようになっていき、子どもたちが「楽しかった!」と言ってくれたうれしかったです。

参加した小学生の声

グラウンドゴルフは初めてやっただけれど、とても楽しかったです。今までもいろいろな活動がありました。印象に残っているのは、新聞紙で紙鉄砲を作ったことです。他にはスリッパも作りました。家でも作ってみたいけれど、遊びすぎて壊れてしまいました。この教室で経験したこと



H.P

気になる「体験」を探してみよう

市H.Pをぜひご覧ください

市や関係機関が行っている、子どもたちが参加できる体験活動の一覧を市ホームページにまとめました。右記二次元コードからぜひご覧ください。なお、市内の小中学校でチラシを配布します。

問合せ 生涯学習課青少年係 (TEL47-5167)



体験活動の例



科学館公開天文台



世代間交流事業 (サツマイモ作り)



放課後☆きっずinわたらせ

子どもに与える効果

多くの人と関わりながら体験を積み重ねることで、社会で生きるための能力を養うことができます。また、保護者や学校の先生以外の大人との交流も良い経験となり、地域社会に関わる機会にもなります。

「体験活動」とその重要性

体験活動って?

体験活動とは、自分の身体を使って実際に経験し、学習することを目的とした取り組みです。自然や人・社会などと直接関わって、いく活動を通して、私たちは何を感じ、学びを得ることが出来ます。

子どもたちに体験の場を

時に真剣な表情を見せ、時に笑顔で楽しみながら、体験に取り組む子どもたち。自ら学び、考える力を深め、実践することで、より良い生活を創出する力が養われます。体験活動は、子ども

活動の中で得られる知識だけでなく、現実の生活への興味・関心、意欲の向上、問題解決能力や自立心、主体性、他者と協働する能力、コミュニケーション力の育成の他、豊かな人間性や価値観の形成など、多くの効果が期待できます。そのため、学校など教育の現場でも、体験活動が推進されています。

教育長より

子どもが子どもでいられる時間は限られています。それはかけがえのない貴重な時間です。子どもが心身ともに健やかにたくましく成長するためには、さまざまな体験が必要であるといわれています。実際に、自分の目で見て、耳で聞いて、肌で感じて、身体全体で空気を感知取って、バーチャルではない「実体験」を、時には達成感を、子どもたちに味わってほしいと思います。本市では、公民館や回井千秋記念子ども科学館をはじめ多くの施設で、子どもを対象にしたさまざまな体験活動を開催しています。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。



川島健治 教育長